



平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年5月15日

上場会社名 株式会社クロニクル 上場取引所 大
 コード番号 9822 URL http://www.chronicle-net.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀 達夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 久保田 峰夫 TEL 03-5771-1200
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績（平成23年10月1日～平成24年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年9月期第2四半期 | 1,079 | △30.3 | △330 | — | △335 | — | △401 | — |
| 23年9月期第2四半期 | 1,547 | △13.0 | △359 | — | △352 | — | △415 | — |

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 △398百万円 (—%) 23年9月期第2四半期 △416百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年9月期第2四半期 | △7.68 | — |
| 23年9月期第2四半期 | △8.73 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年9月期第2四半期 | 3,675 | 3,375 | 91.7 | 62.47 |
| 23年9月期 | 3,960 | 3,669 | 92.7 | 74.93 |

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 3,371百万円 23年9月期 3,669百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年9月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 24年9月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 24年9月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想（平成23年10月1日～平成24年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|---|------|---|-------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,950 | △1.7 | 25 | — | △50 | — | △100 | — | △1.91 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 24年9月期2Q | 53,969,237株 | 23年9月期 | 48,969,237株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年9月期2Q | 1,709株 | 23年9月期 | 1,709株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 24年9月期2Q | 52,300,861株 | 23年9月期2Q | 47,567,581株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予測に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 4 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 11 |
| (5) セグメント情報等 | 12 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 14 |
| (7) 重要な後発事象 | 14 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、長引く円高や雇用情勢の悪化等、また、東日本大震災及びこれに起因する福島第一原発事故により長引く震災被害の影響により、依然として厳しい状況の中で推移しております。

このような状況の下、現在における当社グループの事業は、株式会社クロニクルによる投資事業、株式会社アメイジングバリューによるリセール・オークション事業及び株式会社ドゥーズによる正規品販売事業の2業態による宝飾品事業、株式会社エーディーアンドディー及び株式会社ビジネスアルファ24並びに株式会社エフ・データクリエイションによるWEB情報事業、さらに、株式会社アメイジングバリューによるリサイクル事業及び同社と株式会社クリエイト24による流通サービス関連事業の5事業により展開しております。

当第2四半期連結累計期間における当社及び当社グループ全体の売上高は1,079百万円（前第2四半期連結累計期間は1,547百万円で前第2四半期連結累計期間比30.2%減）に止まり、経済環境の低迷による影響を受ける厳しい状況が続いております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[宝飾品事業]

利益率向上を目的とし、高級輸入時計を中心とするリセール・オークション事業や国内における小売営業展開を積極的に行い、シェア拡大・向上に務めておりますが、売上高は327百万円（前第2四半期連結累計期間は387百万円で前第2四半期連結累計期間比15.4%減）に止まり、現在の経済環境等による影響の下、厳しい事業展開を余儀なくされた結果となっております。

[投資事業]

昨今の経済事情を鑑み、慎重に資金運用した結果、売上高は2百万円（前第2四半期連結累計期間は7百万円で前第2四半期連結累計期間比62.5%減）に止まりました。

[WEB情報事業]

結婚情報サイト「ピュア・アイ」の運営、WEB広告や通信販売事業等を積極的に展開しておりますが、売上高は616百万円（前第2四半期連結累計期間は925百万円で前第2四半期連結累計期間比33.4%減）に止まりました。

[流通サービス関連事業]

対象業種として当面は軽飲食サービスに限定するものの、当該軽飲食サービスへの収益性の高いコンサルティング業務、業務受託形態の事業展開を積極的に展開しておりますが、当第2四半期連結累計期間の売上高は129百万円（前第2四半期連結累計期間は191百万円で前第2四半期連結累計期間比32.0%減）となりました。

[リサイクル事業]

当社の中心事業である宝飾品販売のノウハウを生かし、金やプラチナを中心とした貴金属等の買取りサイクルブランド「黄金市場」を立ち上げ、「売る」から「買う」ビジネスモデルとして事業展開を行っております。当社グループの高額商品を取扱う中で培ってきた接客スキルとノウハウを他業種で活用する新たなビジネス展開を立ち上げておりますが、当第2四半期連結累計期間の売上高は2百万円（前第2四半期連結累計期間は35百万円で前第2四半期連結累計期間比94.0%減）に止まっております。

以上の結果、売上高におきましては1,079百万円（前第2四半期連結累計期間は1,547百万円で前第2四半期連結累計期間比30.2%減）、営業損失におきましては、商品評価損54百万円及び広告宣伝費111百万円並びにのれんの償却費78百万円等の計上により△330百万円（前第2四半期連結累計期間は営業損失△359百万円）となりました。

経常損失におきましては、為替差益47百万円等による営業外収益52百万円の計上があったものの、貸倒引当金繰入額57百万円等による営業外費用58百万円の計上により△335百万円（前第2四半期連結累計期間は経常損失△352百万円）となりました。

四半期純損失におきましては、減損損失31百万円及び投資有価証券評価損26百万円等による特別損失57百万円の計上により△401百万円（前第2四半期連結累計期間は四半期純損失△415百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて284百万円減少し、3,675百万円となりました。

資産減少の主な内容は、現金及び預金の減少額72百万円及び売掛金の減少額63百万円並びにのれんの償却に伴う減少額78百万円、貸倒引当金の増加額63百万円等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて8百万円増加し、299百万円となりました。

負債増加の主な原因は、短期借入金の増加額72百万円及び買掛金の減少額37百万円並びに未払金の減少額15百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて293百万円減少し、3,375百万円となりました。

純資産減少の主な原因は、四半期純損失100百万円の計上及び新株予約権の行使による増資額100百万円によるものであ

純資産減少の主な原因は、四半期純損失△401百万円の計上及び新株予約権の行使による増資額100百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ72百万円減少し、92百万円となりました(前連結会計年度末は165百万円で前連結会計年度末比44.2%減)。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ41百万円(15.8%減)減少し、222百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失△390百万円の計上、売上債権の減少額63百万円、仕入債務の減少額△37百万円、未払金の減少額△15百万円によるものであります。

(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ2百万円(8.0%増)増加し、27百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出△16百万円及び貸付による支出△17百万円によるものであります。

(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、増加した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ175百万円(8,864.64%増)増加し、177百万円となりました。

これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入100百万円、借入れによる収入79百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降も厳しい状況が続くものと予想されます。

これにより本日別途開示致しました「営業外損失、特別損失の発生及び平成24年9月期第2四半期連結累計期間(連結)の実績値と業績予想との差異及び通期(連結)の業績予想の修正について」にてお知らせ致しましたとおり、平成23年11月18日の業績予想で発表しました業績予想に修正を行うことと致します。

「宝飾品事業」

宝飾品事業におきましては、第2四半期連結累計期間までの影響は受けざるを得ない状況となると考えられますが、今後の多店舗展開等の実施及び中国宝飾品市場とビジネス展開により業績の回復を行うことを見込んでおり今後の取扱商品の見直し及び販売チャンネルの変更等を行うことにより売上高は当初の予想数値通り900百万円と判断致しました。

「投資事業」

投資事業につきましては、当初の予想数値である50百万円に変更はありません。

「WEB情報事業」

WEB情報事業におきましては、当初の予想数値である1,400百万円に変更はありません。

「流通サービス関連事業」

流通サービス関連事業におきましては、第2四半期連結累計期間においてベルモアカフェとの業務契約解消となりましたが、今後土流通サービス関連事業において新たな事業の展開を策定しており当初の予想数値である600百万円に変更はありません。

「リサイクル事業」

リサイクル事業におきましては、下期において事業展開が実行される事が予想されます。

売上高におきましては当初の予想数値である40百万円に変更はありません。

以上が通期連結における売上高の予想であり、売上高に修正はないものの第2四半期連結累計期間における営業外費用及び特別損失の計上により各利益への影響も加味したことが業績予想の修正に至った大きな理由であります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 （持分法適用の範囲の変更）

平成24年1月23日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社クリエイト24が保有する当社の持分法適用関連会社である株式会社ベルモアカフェ株式を全て譲渡すること及び当社の子会社である株式会社アメイジングバリューと株式会社ベルモアカフェ間の業務提携契約を解除することを併せて決議し、かつ、同日付で当該株式の譲渡及び業務提携契約の解除が完了したことに伴い、持分法適用の範囲に含めておりました株式会社ベルモアカフェは当第2四半期連結会計期間より、持分法の適用範囲から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、平成22年9月期に△648百万円及び前連結会計年度である平成23年9月期に△756百万円、また、当第2四半期連結累計期間においても△330百万円と連続して営業損失を計上しており、さらに、前連結会計年度である平成23年9月期に△338百万円、当第2四半期連結累計期間においても△222百万円と営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなっております。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、資金調達計画に基づく営業資金の確保や新規事業開拓等の活動資金確保の他、WEB情報事業の拡大及びM&Aや事業譲受等の事業拡大・強化計画により売上高と利益率の向上を図っております。

具体的な施策としましては、平成23年12月22日開催の第32期定時株主総会において承認決議されました新株予約権の発行に基づき、当該新株予約権者の権利行使に伴う新株発行増資による多額の資金調達の実行、また、新たな販売手法や顧客層の獲得による宝飾品事業の回復安定化、WEB情報事業の新規情報配信コンテンツの立ち上げやWEB広告の拡大による新たな顧客層の獲得と販路の拡大、さらに、今後想定しております収益性を重視したM&A等による事業拡大及びWEB情報事業や流通サービス関連事業における新規事業の開拓により、売上高及び利益の拡大を見込んでおります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 165,096 | 92,138 |
| 売掛金 | 212,145 | 148,850 |
| 営業投資有価証券 | 2,862 | — |
| 営業出資金 | 911,616 | 914,666 |
| 商品 | 613,809 | 616,266 |
| 繰延税金資産 | 9,758 | — |
| その他 | 74,496 | 55,712 |
| 貸倒引当金 | △43,715 | △36,458 |
| 流動資産合計 | 1,946,069 | 1,791,176 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 57,103 | 57,885 |
| 減価償却累計額 | △14,545 | △15,170 |
| 減損損失累計額 | △9,712 | △9,712 |
| 建物及び構築物（純額） | 32,844 | 33,002 |
| 工具、器具及び備品 | 79,857 | 94,246 |
| 減価償却累計額 | △64,699 | △67,626 |
| 減損損失累計額 | △11,749 | △13,313 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 3,409 | 13,306 |
| 車両運搬具 | 4,830 | 4,830 |
| 減価償却累計額 | △2,570 | △2,570 |
| 減損損失累計額 | △2,259 | △2,259 |
| 車両運搬具（純額） | 0 | 0 |
| 土地 | 75,445 | 75,445 |
| 有形固定資産合計 | 111,700 | 121,754 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,644,435 | 1,566,326 |
| その他 | 35,852 | 11,275 |
| 無形固定資産合計 | 1,680,288 | 1,577,601 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 37,719 | 11,615 |
| 長期未収入金 | 89,968 | 89,817 |
| 破産更生債権等 | 1,430,567 | 1,485,503 |
| 長期貸付金 | 29,562 | 29,142 |
| その他 | 114,631 | 119,847 |
| 貸倒引当金 | △1,480,216 | △1,550,773 |
| 投資その他の資産合計 | 222,231 | 185,152 |
| 固定資産合計 | 2,014,220 | 1,884,508 |
| 資産合計 | 3,960,289 | 3,675,684 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 100,739 | 63,616 |
| 短期借入金 | 9,184 | 81,804 |
| 未払金 | 84,027 | 68,056 |
| 未払法人税等 | 5,078 | 8,612 |
| 賞与引当金 | 3,312 | 2,480 |
| その他 | 64,239 | 51,009 |
| 流動負債合計 | 266,582 | 275,579 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 13,856 | 13,088 |
| 退職給付引当金 | 7,879 | 8,286 |
| その他 | 2,666 | 2,795 |
| 固定負債合計 | 24,402 | 24,169 |
| 負債合計 | 290,984 | 299,748 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,000,000 | 5,050,275 |
| 資本剰余金 | 1,076,598 | 1,126,873 |
| 利益剰余金 | △2,400,933 | △2,802,633 |
| 自己株式 | △525 | △525 |
| 株主資本合計 | 3,675,138 | 3,373,989 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △5,833 | △2,783 |
| その他の包括利益累計額合計 | △5,833 | △2,783 |
| 新株予約権 | — | 4,730 |
| 純資産合計 | 3,669,305 | 3,375,935 |
| 負債純資産合計 | 3,960,289 | 3,675,684 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日) |
|--------------------|--|--|
| 売上高 | 1,547,505 | 1,079,436 |
| 売上原価 | 808,055 | 617,199 |
| 売上総利益 | 739,450 | 462,236 |
| 販売費及び一般管理費 | ※1 1,098,978 | ※1 792,523 |
| 営業損失(△) | △359,528 | △330,286 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 601 | 318 |
| 受取配当金 | 1,009 | 15 |
| 為替差益 | — | 47,555 |
| 債務戻入益 | 5,560 | — |
| 受取家賃 | 5,064 | 4,140 |
| 受取手数料 | — | 41 |
| 雑収入 | 2,499 | 743 |
| 営業外収益合計 | 14,734 | 52,814 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 86 | 562 |
| 支払保証料 | 65 | 65 |
| 為替差損 | 5,962 | — |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 57,382 |
| 持分法による投資損失 | 1,200 | — |
| 雑損失 | — | 170 |
| 営業外費用合計 | 7,314 | 58,179 |
| 経常損失(△) | △352,107 | △335,651 |
| 特別利益 | | |
| 関係会社株式売却益 | — | 2,515 |
| 貸倒引当金戻入額 | 12,847 | — |
| その他 | 952 | — |
| 特別利益合計 | 13,799 | 2,515 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | — | 26,104 |
| 減損損失 | 2,358 | 31,617 |
| 固定資産除却損 | — | 107 |
| 商品廃棄損 | 29,627 | — |
| 訴訟和解金 | 12,000 | — |
| 株主名簿引継手数料 | 25,948 | — |
| 特別損失合計 | 69,934 | 57,828 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △408,242 | △390,964 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,540 | 976 |
| 過年度法人税等 | 447 | — |
| 法人税等調整額 | 2,168 | 9,758 |
| 法人税等合計 | 7,156 | 10,735 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △415,399 | △401,699 |
| 四半期純損失(△) | △415,399 | △401,699 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日) |
|--------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △415,399 | △401,699 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △682 | 3,049 |
| その他の包括利益合計 | △682 | 3,049 |
| 四半期包括利益 | △416,081 | △398,649 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △416,081 | △398,649 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失 (△) | △408,242 | △390,964 |
| 減価償却費 | 9,244 | 5,940 |
| 無形固定資産償却費 | — | 9 |
| 減損損失 | 2,358 | 31,617 |
| 固定資産除却損 | — | 107 |
| のれん償却額 | 81,195 | 78,109 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 45,608 | 63,299 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 88 | △832 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 262 | 406 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | — | 26,104 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,610 | △333 |
| 支払利息 | 86 | 562 |
| 為替差損益 (△は益) | △8 | △76 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | 1,200 | — |
| 関係会社株式売却損益 (△は益) | — | △2,515 |
| その他の特別損益 (△は益) | △952 | — |
| 営業投資有価証券の増減額 (△は増加) | 3,035 | 2,862 |
| 営業出資金の増減額 (△は増加) | △30,000 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △25,372 | 63,294 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 105,163 | △2,456 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △42,363 | △37,122 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | 4,191 | 789 |
| その他の資産の増減額 (△は増加) | 10,535 | 7,059 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 1,286 | △15,842 |
| その他の負債の増減額 (△は減少) | △10,616 | △5,935 |
| 破産更生債権等の増減額 (△は増加) | 5,674 | △54,936 |
| 小計 | △249,234 | △230,852 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,411 | 144 |
| 利息の支払額 | △86 | △1,149 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △16,460 | 9,165 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △264,370 | △222,691 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △3,099 | △16,019 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △3,914 | — |
| 関係会社株式の売却による収入 | — | 2,515 |
| 貸付けによる支出 | △27,412 | △17,619 |
| 貸付金の回収による収入 | 17,407 | 16,466 |
| その他の支出 | △11,918 | △7,211 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | — | △7,556 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 3,502 | 1,951 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △25,434 | △27,473 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 借入れによる収入 | 3,070 | 79,732 |
| 借入金の返済による支出 | △1,094 | △7,880 |
| 新株予約権の発行による収入 | — | 5,280 |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | — | 100,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,975 | 177,131 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 8 | 76 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △287,820 | △72,957 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 540,378 | 165,096 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | ※1 252,558 | ※1 92,138 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

当社グループは、平成22年9月期に△648百万円及び前連結会計年度である平成23年9月期に△756百万円、また、当第2四半期連結累計期間においても△330百万円と連続して営業損失を計上しており、さらに、前連結会計年度である平成23年9月期に△338百万円、当第2四半期連結累計期間においても△222百万円と営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなっております。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、資金調達計画に基づく営業資金の確保や新規事業開拓等の活動資金確保の他、WEB情報事業の拡大及びM&Aや事業譲受等の事業拡大・強化計画により売上高と利益率の向上を図っております。

具体的な施策としましては、平成23年12月22日開催の第32期定時株主総会において承認決議されました新株予約権の発行に基づき、当該新株予約権者の権利行使に伴う新株発行増資による多額の資金調達の実行、また、新たな販売手法や顧客層の獲得による宝飾品事業の回復安定化、WEB情報事業の新規情報配信コンテンツの立ち上げやWEB広告の拡大による新たな顧客層の獲得と販路の拡大、さらに、今後想定しております収益性を重視したM&A等による事業拡大及びWEB情報事業や流通サービス関連事業における新規事業の開拓により、売上高及び利益の拡大を見込んでおります。

しかし、上記の諸策のうち、新株予約権の権利行使に伴う新株発行増資による多額の資金調達については、平成23年12月29日において、新株予約権発行総数480個のうち、一部の権利行使(権利行使数：50個、発行株式数：5百万株、払込金額：100百万円)が実行されたものの、残りの当該新株予約権の権利行使に関しては、現時点において行使時期及び行使額は新株予約権者の判断に依存しております。また、売上高及び利益の拡大は外部要因に依存する部分が大きく、継続企業の前提に関する重要な不確実性が存在するものと認められます。

なお、四半期連結財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、このような重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年10月1日 至 平成23年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 合計 |
|---------------------------|---------|----------|---------|----------------|-------------|-----------|
| | 宝飾品事業 | 投資事業 | WEB情報事業 | 流通サービス 関連事業 | リサイクル 事業 | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 387,458 | 7,977 | 925,729 | 191,223 | 35,117 | 1,547,505 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 15,253 | 22,128 | 2,868 | — | — | 40,249 |
| 計 | 402,711 | 30,105 | 928,597 | 191,223 | 35,117 | 1,587,755 |
| セグメント利益 又は損失(△) | △49,518 | △181,243 | 15,403 | △17,285 | △9,808 | △242,452 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | △242,452 |
| セグメント間取引消去 | △832 |
| のれん償却額 | △81,195 |
| 棚卸資産の調整額 | △381 |
| 貸倒引当金の調整額 | △35,931 |
| 減価償却費の調整額 | 1,266 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失 | △359,528 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「宝飾品事業」セグメントにおける事業用資産である「工具器具及び備品」、また、「投資事業」セグメントにおける事業用資産である「工具器具及び備品」及び「ソフトウェア」について、当該各事業に係る損益及びキャッシュ・フローが継続してマイナスとなる状況であるため、当第2四半期連結累計期間において、収益性が著しく低下しているものと判断し、帳簿価額を回収可能価額等まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、「宝飾品事業」セグメント「工具器具及び備品」に係る減損損失の額は894千円、また、「投資事業」セグメントにおける「工具器具及び備品」に係る減損損失の額は466千円、「ソフトウェア」に係る減損損失の額は998千円であります。

また、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては2,358千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | 合計 |
|---------------------------|---------|----------|---------|----------------|-------------|-----------|
| | 宝飾品事業 | 投資事業 | WEB情報事業 | 流通サービス 関連事業 | リサイクル 事業 | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 327,936 | 2,988 | 616,462 | 129,947 | 2,101 | 1,079,436 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 9,322 | 5,240 | 4,932 | 487 | — | 19,982 |
| 計 | 337,259 | 8,228 | 621,394 | 130,434 | 2,101 | 1,099,419 |
| セグメント利益 又は損失(△) | △76,017 | △133,311 | △56,152 | 20,617 | △9,503 | △254,367 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | △254,367 |
| セグメント間取引消去 | 577 |
| のれん償却額 | △76,740 |
| 棚卸資産の調整額 | 55 |
| 減価償却費の調整額 | 187 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失 | △330,286 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「投資事業」セグメントにおける事業用資産である「工具器具及び備品」及び「WEB情報事業」セグメントにおける事業用資産である「ソフトウェア」並びに「流通サービス関連事業」セグメントにおける事業用資産である「工具器具及び備品」、「リサイクル事業」セグメントにおける事業用資産である「工具器具及び備品」「ソフトウェア」「商標権」について、当第2四半期連結累計期間において収益性が著しく低下しているものと判断し、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、「投資事業」セグメントにおける「工具器具及び備品」に係る減損損失の額は147千円、「WEB情報事業」セグメントにおける「ソフトウェア」に係る減損損失の額は19,878千円、「流通サービス関連事業」セグメントにおける「工具器具及び備品」に係る減損損失の額は1,172千円、「リサイクル事業」セグメントにおける事業用資産である「工具器具及び備品」「ソフトウェア」「商標権」に係る減損損失の額は、それぞれ245千円、10,000千円、173千円であります。

また、当該減損損失計上額は、当第2四半期連結累計期間においては31,617千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年12月26日付で第三者割当による新株予約権480個を発行しており、うち、50個について、割当先のひとつであるRed Drum Invest Limited（レッド ドラムインベスト リミテッド）より権利行使がなされ、平成23年12月29日付で払込金100,000千円及び新株予約権550千円の振替に基づく5,000,000株の新株発行及び増資が行われております。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が50,275千円及び資本準備金が50,275千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が5,050,275千円、資本準備金が50,275千円となっております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。